

『顎骨模型』の有用性とは

実物大模型を用いたシミュレーションで、術前に確実なイメージづくりを

実物大顎骨模型を用いて、術前にドリリングシミュレーションを行うことができます。シミュレーションソフトでプランニングした時のイメージとすり合わせることで、術前に問題点を抽出することができます。このことにより人為的なエラーを回避することができるという大きな利点があります。

customer feedback

ユーザーの声



コンピューターガイドドサージェリーは、自分が行ってきた従来のオペと全く違う分野の技術であると感じた。

初めてガイドを使用する場合、難症例はお奨めしない。簡単な症例から始めて、システムの勘所を掴んだほうがよい。

Bone Navi®System は顎骨模型で実際のオペをシミュレーションできるという大きなメリットがある。オペのイメージを事前に確認できることは、歯科医師自身にとって大きな安心となる。

顎骨模型の有用性

- ◎ 解剖学的危険部位の問題点の確認ができる
- ◎ 抜歯即時埋入予定の際の骨の状態を確認できる
- ◎ 実際の骨に近い切削感触であるため、手術シミュレーションを実際に近い状態で実践できる
- ◎ ドリリングシミュレーションを行うことで、プランニング時の感覚とのずれを修正できる



顎骨模型にガイドをセット



ドリリングシミュレーション